円筒土器文化の集落データベース作成による研究

はじめに

三内丸山遺跡では、平成４年の発掘調査開始以来、縄文文化研究を先導し、幾多の重要な成果をあげてきました。調査開始から２０周年をむかえる今年度は、平成１４年の『青森県史 別編 三内丸山遺跡』刊行から１０周年の節目にもあたります。同書では調査開始から１０年を経た時点における、円筒土器文化研究の総括がなされていましたが、刊行後１０年の間にも円筒土器出土遺跡は増加しており、改めて現状を把握する必要性が生じています。

そこで、三内丸山遺跡保存活用推進室（以下、推進室）では、平成２４・２５年度の二ヵ年計画で円筒土器文化集落データベース（以下、データベース）を作成することとしました。このデータベースには、平成１４年以降新たに確認された遺跡も含めた円筒土器出土遺跡の内容を悉皆的に確認し、時期や出土遺物・遺構に関するデータがまとめられる予定です。ここでは、平成２４年度の作業状況とデータベース作成の過程で明らかにされた課題について報告を行います。

１．データベースの作成手順について

データベースの作成は、以下の手順で作業を進めることとしました。

① 円筒土器文化の中心地域である北海道南部、青森、秋田、岩手については、各道県の教育委員会が管理する遺跡台帳に記載されている縄文時代前・中期の遺跡から円筒土器出土遺跡を抽出する。

② 円筒土器文化の周縁地域である北海道東・北部、北陸地方及び南東北については、文献情報から、円筒土器出土遺跡を抽出する。

③ 各遺跡の内容が記された発掘調査報告書や論文等、関連文献の書誌一覧を作成する。

④ 関連文献から遺跡の基本情報（所在地・緯度/経度・立地・標高・地形区分・発掘調査面積）を確認し、一覧表を作成する。

⑤ 集落遺跡の性格を把握するため、遺構と遺物の内容を確認する。
- ・遺構（竪穴建物跡、掘立柱建物跡、土坑、土坑墓、埋設土器、盛土、貝塚）
- ・遺物（石器および土・石製品の器種、有機質遺物）

⑥ 遺構・遺物の名称や形状、付帯施設の構造について、統一した基準を設定し、データを抽出する。

⑦ 遺構の数量や、遺物の組成に関するデータを抽出する。

上記の作業と並行して、円筒土器文化に関連する主要な報告書・論文を集め、電子書籍化を進めています。関連文献の書誌データ一覧を作成し、次年度末までに円滑なデータ検索が行えるシステムが完成する予定です。

また、４道県の遺跡に関する情報を遺漏なく収集するため、円筒土器文化研究の第一線で活躍する研究者からなるプロジェクトチームを組織しました。データベース作成検討会（以下、検討会）を定期的に開催することで、データ項目や作成方法についての意見交換を行う場を設けています。

今年度は下記の日程で二回の検討会を開催し、円筒土器の型式区分や各地域で独自に設定された「地方型式」の内容について議論を交わし、円筒土器文化研究の課題共有を図りました。

プロジェクトチーム構成員
青森県　岡田　康博（青森県教育庁文化財保護課）全体作業統括者
　　小笠原雅行（青森県教育庁文化財保護課）
秋田県　小林　　克（秋田県埋蔵文化財センター）
　　嶋影　壮憲（大館市教育委員会）
岩手県　星　　雅之　（公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター）
北海道　福田　裕二（函館市教育委員会）

データベース作成検討会

第１回 平成 24 年 10 月 8 日（月）	於：三内丸山遺跡縄文時遊館 　データベースに盛り込むべき項目、遺物の分類基準について意見交換を行った。円筒土器諸型式についての共通理解を確認し、円筒土器に併行する地方型式（「茂屋下岱式」、「狐岱式」等）の位置づけ、石器の器種分類や、データ抽出の際に並行して拾い上げるべき属性についても議論した。
第２回 平成 24 年２月 11 日（月）	於：三内丸山遺跡縄文時遊館 　円筒土器の直前・直後型式の研究動向を確認し、データベースの対象とすべき時期の範囲について意見交換を行った。円筒土器の直前型式については、円筒土器文化の成立を考える上で重要であるため、４道県における白座式、深郷田式、早稲田６類の様相を確認した。また、北海道の前・中期の土器編年と円筒諸型式の関係について共通理解を確認した。

２．平成２４年度の作業状況と成果

今年度は、４道県の遺跡台帳と発掘調査報告書の悉皆的な内容確認を行い、円筒土器出土遺跡の抽出と書誌一覧の作成を行いました（表１）。作業の結果、４道県に分布する円筒土器出土遺跡は、841 遺跡に上ることがわかりました。これは、『青森県史』で確認されていた円筒土器出土遺跡の数である 257 遺跡を大きく上回ります。また、遺跡の位置情報から、円筒土器出土遺跡の地理的な分布を確認し、土器型式毎に変化する様子や近接する大木式土器文化圏との境界の様子も捉えることができるようになりました（図１）。

今年度の作業では、各遺跡の遺構・遺物の内容の確認に留まり、遺構の数や遺物の出土量に関する情報が加えられていません。また、円筒土器文化に特有であると評価されている石器の器種やマツリの道具の存在が知られていますが、それらが対象地域の中でどのように分布するのか確認していくことも重要です。次年度の作業では、各遺跡の遺構・遺物に量的な情報を与え、個々の遺跡がもつ特徴をより深く掘り下げてデータの充実を図ります。

３．データの公開について

平成２５年度末に開催される三内丸山遺跡報告会において、最終的な研究成果の公表を行う予定です。また、公式ホームページ（http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/）上には、今年度の事業の成果として、円筒土器出土遺跡一覧と円筒土器文化関連文献一覧を公開しています。本資料とあわせてご活用ください。

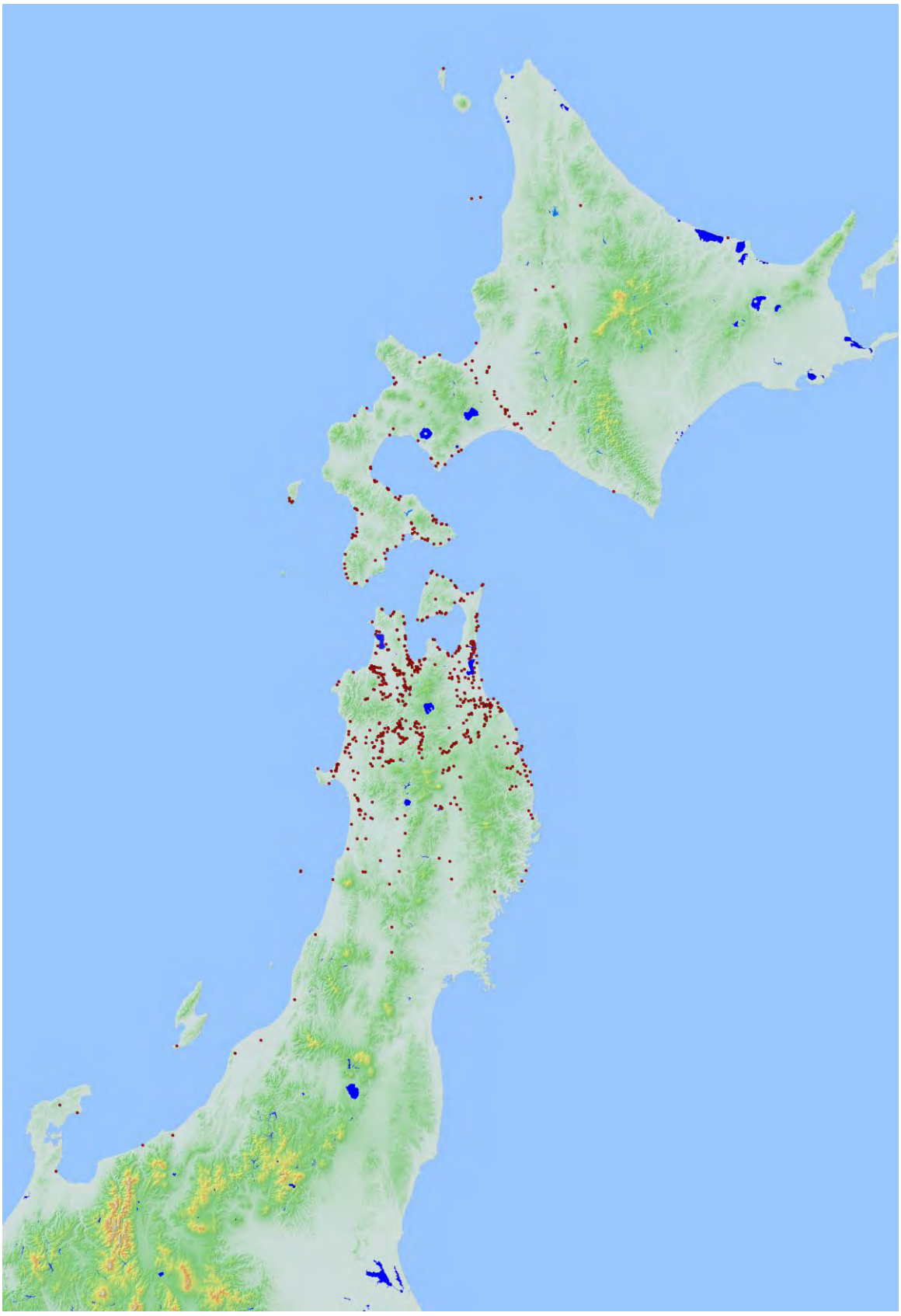

図1　円筒土器が出土した 遺跡の分布

表1　円筒土器文化総合研究　集落データベース(青森)

遺跡名	遺跡名(読み)	市町村	所在地	緯度(日本測地系)	経度(日本測地系)	緯度(世界測地系)	経度(世界測地系)	発掘調査面積	時期												遺構	遺物	文献
									土器型式	早期		前期			中期			後期			晩期				
										前半	後半	前葉	中葉	後葉	前葉	中葉	後葉	前葉	中葉	後葉	前葉	中葉	後葉			
三内丸山	さんないまるやま	青森市	青森市大字三内字丸山	40.4850	140.4207	40.4845	140.4158	青森県教育庁文化課1996『三内丸山遺跡6』「22000/18000/32400/3212」 青森県教育庁文化課1997a『三内丸山遺跡7』「7626」 青森県教育庁文化課1997b『三内丸山遺跡7』「7626」 青森県教育庁文化課1997c『三内丸山遺跡7』「7626」 青森県教育庁文化課1997d『三内丸山遺跡8』「169」 青森県教育庁文化課1998a『三内丸山遺跡9』「169」 青森県教育庁文化課1998b『三内丸山遺跡10』「38000」 青森県教育庁文化課1998c『三内丸山遺跡11』「7626」 青森県教育庁文化課1998d『三内丸山遺跡11』「7626」 青森県教育庁文化課1998e『三内丸山遺跡11』「7626」 青森県教育庁文化課1998ｆ『三内丸山遺跡12』「5368」 青森県教育庁文化課1998ｇ『三内丸山遺跡12』「5368」 青森県教育庁文化課1998ｈ『三内丸山遺跡12』「5368」 青森県教育庁文化課1999a『三内丸山遺跡13』「4615」 青森県教育庁文化課1999b『三内丸山遺跡13』「4615」 青森県教育庁文化課1999c『三内丸山遺跡13』「4615」 青森県教育庁文化課2000a『三内丸山遺跡14』	白浜式、早稲田4類、早稲田6類、円筒下層a.b.c.d式、円筒上層a.b.c.d.e式、大木6新並行、榎林式、最花式、大木10併行、十腰内I式、晩期	○	○	○	○	○	○	○	○	○						竪穴住居跡、土坑、土坑墓、環状配石墓、道路跡、埋設土器、粘土採掘坑		青森県教委1974『近野遺跡発掘調査報告書（３）　三内丸山（２）遺跡発掘調査報告書』 青森県教委1992『三内丸山（２）遺跡Ⅱ』 青森県教委1994『三内丸山（２）遺跡Ⅲ』 青森県教委1995『三内丸山（２）遺跡Ⅳ』 青森県教委1996a『三内丸山遺跡Ⅴ』 青森県教委1996b『三内丸山遺跡Ⅵ』 青森県教委1997a『三内丸山遺跡Ⅶ』 青森県教委1997d『三内丸山遺跡Ⅷ』 青森県教委1998a『三内丸山遺跡Ⅸ』 青森県教委1998b『三内丸山遺跡Ⅹ』 青森県教委1998c『三内丸山遺跡ⅩⅠ』 青森県教委1998d『三内丸山遺跡ⅩⅡ』 青森県教委1999『三内丸山遺跡ⅩⅢ』 青森県教委2000a『三内丸山遺跡ⅩⅣ』 青森県教委2000b『三内丸山遺跡ⅩⅤ』 青森県教委2000c『三内丸山遺跡ⅩⅥ』 青森県教委2000d『三内丸山遺跡ⅩⅦ』 青森県教委2001『三内丸山遺跡ⅩⅧ』 青森県教委2002a『三内丸山遺跡ⅩⅨ』 青森県教委2002d『三内丸山遺跡ⅩⅩ』 青森県教委2003a『三内丸山遺跡21』 青森県教委2003b『三内丸山遺跡22』 青森県教委2003c『特別史跡三内丸山遺跡一部損傷事故に係る発掘調査報告書』青森県教育庁文化財保護課 青森県教委2004a『三内丸山遺跡23』 青森県教委2004b『三内丸山遺跡24』 青森県教委2004c『三内丸山遺跡25』 青森県教委2005a『三内丸山遺跡26』 青森県教委2005b『三内丸山遺跡27』 青森県教委2005c『三内丸山遺跡28』 青森県教委2006a『三内丸山遺跡29』 青森県教委2006b『三内丸山遺跡30』
三内丸山(9)	さんないまるやま(9)	青森市	青森市三内字丸山	40.4827	140.4145	40.4817	140.4158	青森県教委2007『三内遺跡2・三内丸山（9）遺跡』9000 青森県教委2010『三内丸山（9）遺跡ⅠⅠⅠ』862	早稲田5類、早稲田6類、表館式、円筒下層b･d式、円筒上層a･b･c･d･e式、榎林式、最花式、大木8a･10式併行、後期初頭、十腰内Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ～Ⅳ式、後期末、大洞BC･C1･C2･A式			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	竪穴住居跡、掘立柱建物跡、土坑･フラスコ状土坑、.埋設土器、集石遺構、焼土遺構、ピット群、トチ塚		青森県教委2007『三内遺跡2・三内丸山（9）遺跡』 青森県教委2010『三内丸山（9）遺跡ⅠⅠⅠ』
三内丸山(5)	さんないまるやま(5)	青森市	青森市三内字丸山	40.4825	140.4284	40.4835	140.4311	青森県教委1999『三内丸山（5）遺跡　発掘調査報告書』2064 青森県教育庁文化財保護課2004『青森県遺跡詳細分布調査報告書16』2000 青森県教委2004『三内丸山（5）遺跡2・近野遺跡7』1500 青森市教委2007a『市内遺跡発掘調査報告書15』52 青森市教委2007b『市内遺跡発掘調査報告書15』35 青森市教委2010『市内遺跡発掘調査報告書18』35	円筒下層a･b･c･d式、円筒上層a･b･c･d･e式、榎林式、最花式、大木10式併行、後期初頭、十腰内Ⅰ式、大洞C1式				○	○	○	○	○	○	○			○			竪穴住居跡、土坑、埋設土器、道路遺構、焼土遺構		青森県教委1999『三内丸山（5）遺跡　発掘調査報告書』 青森県教委2004a『青森県遺跡詳細分布調査報告書16』 青森県教委2004b『三内丸山（5）遺跡2・近野遺跡7』 青森市教委2007『市内遺跡発掘調査報告書15』 青森市教委2008『市内遺跡発掘調査報告書16』 青森市教委2010『市内遺跡発掘調査報告書18』
三内丸山(8)	さんないまるやま(8)	青森市	青森市大字三内字丸山	40.4902	140.4228	40.4902	140.4228	青森市教委2004『市内遺跡発掘調査報告書12』280 青森市教委2005『三内丸山（8）遺跡発掘調査報告書』500	円筒上層e式、最花式、中期末葉、十腰内Ⅰ式							○	○	○						屋外炉		青森市教委2004『市内遺跡発掘調査報告書12』 青森市教委2005『市内遺跡発掘調査報告書13』
三内丸山(6)	さんないまるやま(6)	青森市	青森市三内字丸山	40.4752	140.4209	40.4802	140.4156	青森県教委1999『三内丸山（6）遺跡1』6000 青森県教委2000a『三内丸山（6）遺跡2　1』2000 青森県教委2000b『三内丸山（6）遺跡2　2』279 青森県教委2001『三内丸山（6）遺跡3』5000 青森県教委2002『三内丸山（6）遺跡4』6000/4700/5000/5000 青森市教委2002『市内遺跡発掘調査報告書』473	円筒下層c･d式、円筒上層a.b.c.d.e式、榎林式、最花式、大木8b.9.10併行			○		○	○	○	○	○	○		○			竪穴住居跡、竪穴遺構、掘立柱建物跡、土坑･フラスコ状土坑、ピット群、柱列、焼土遺構、埋設土器、溝、クルミ集中範囲		青森県教委1999『三内丸山（6）遺跡1』 青森県教委2000『三内丸山（6）遺跡2』 青森県教委2001『三内丸山（6）遺跡3』 青森県教委2002『三内丸山（6）遺跡4』 青森市教委1997『市内遺跡詳細分布調査報告書』 青森市教委2002『市内遺跡発掘調査報告書』 青森市教委2005『市内遺跡発掘調査報告書13 』
三内霊園	さんないれいえん	青森市	青森市大字三内字沢部353番地			40.4907	140.4105		円筒下層d2式、円筒上層a式						○	○							土坑、埋設土器、炉		青森市教委1962『三内霊園遺跡調査概報』
三本木	さんぼんぎ	青森市	青森市三本木字川崎	40.5000	140.5025	40.5010	140.5012	青森県教委2003『宮田館遺跡2　三本木遺跡』800 青森市教委2006『市内遺跡発掘調査報告書14』10 青森市教委2007『市内遺跡発掘調査報告書15』8	縄文前期(円筒下層c～d1),中期(大木10併行),後期(後半)						○			○						なし		青森県教委2003『宮田館遺跡2　三本木遺跡』 青森市教委2006『市内遺跡発掘調査報告書14』 青森市教委2007『市内遺跡発掘調査報告書15』
四戸橋(1)	しとばし(1)	青森市	青森市後潟字後潟山			40.5631	140.3756		円筒下層d1･d2式、円筒上層a～最花式						○	○	○	○	○				住居跡、埋設土器		青森市教委1983『四戸橋遺跡調査報告書』
新町野	しんまちの	青森市	青森市野木字山口	40.4600	140.4510	40.4660	140.4502	青森県教委1998『新町野遺跡・野木遺跡』4460/800/3400/17000/240 青森県教委2000『新町野遺跡2』13000 青森市教委1997『新町野遺跡試掘調査報告書』1500 青森市教委1998『新町野遺跡発掘調査報告書』3500 青森市教委1999『新町野・野木遺跡発掘調査概報』23800 青森市教委2001a『新町野・野木遺跡発掘調査報告書ⅠⅠ』8 青森市教委2001b『新町野遺跡発掘調査報告書ⅠⅠ』23800 青森市教委2004『新町野遺跡発掘調査概報』10000 青森市教委2006a『新町野遺跡発掘調査概報ⅠⅠ』20500 青森市教委 2006b『新町野遺跡発掘調査報告書ⅠⅠⅠ』13500 青森市教委2007『新町野遺跡発掘調査概報ⅠⅠⅠ』9600 青森市教委2009『市内遺跡発掘調査報告書17』8	物見台式、ムシリ式、円筒下層d式、円筒上層a式、中期末後期初頭、十腰内Ⅰ式、後期中頃?、晩期	○	○			○	○		△	○	△	△	△	△	△	竪穴式住居跡、竪穴遺構、土坑、溝状土坑、埋設土器遺構、屋外炉、焼土遺構、円形周溝、配石遺構		青森県教委1998『新町野遺跡・野木遺跡』 青森県教委2000『新町野遺跡2』 青森市教委1997『新町野遺跡試掘調査報告書』33集 青森市教委1998『新町野遺跡発掘調査報告書』37集 青森市教委1999『新町野・野木遺跡発掘調査概報』 青森市教委2001a『新町野・野木遺跡発掘調査報告書ⅠⅠ』 青森市教委2001b『新町野遺跡発掘調査報告書ⅠⅠ』 青森市教委2004『新町野遺跡発掘調査概報』 青森市教委2006a『新町野遺跡発掘調査概報ⅠⅠ』 青森市教委2006b『新町野遺跡発掘調査報告書ⅠⅠⅠ』 青森市教委2007『新町野遺跡発掘調査概報ⅠⅠⅠ』 青森市教委2008a『新町野遺跡発掘調査報告書ⅠⅠⅠ』 青森市教委2008b『新町野遺跡発掘調査報告書ⅠⅤ』 青森市教委2009『市内遺跡発掘調査報告書17』